

ボランティアセンターでできること

●ボランティアについての相談に乗っています。

「ボランティアをやりたい」「自分にできることはなんだろう」「興味はあるけど、どうやって探したらいいかわからない」などボランティアに関する様々な相談に乗っています。常駐のスタッフが皆さんと話しながら、活動に参加したり、それを広げたりするお手伝いをします。



●ボランティアに関する情報が 있습니다。

地域の社会福祉協議会やボランティアセンター・行政機関などと連携し、ボランティア活動に関する情報を集めています。外部団体の情報誌・ボランティア募集、イベントのチラシなどを自由に閲覧することができます。



●ボランティアに関する講座・イベントを行っています。

活動をより充実したものにするための講座やワークショップ、ボランティア活動に関わる学生やサークル等の活動報告会・交流会など、様々なイベントを行っています。



●学生の自主的な活動を支援しています。

環境・自然・災害・福祉・国際など、様々なテーマで活動する学生をスタッフがコーディネートし、総合的にサポートしています。また、ボランティアセンター主催や、他団体との連携によるボランティア活動の企画や運営を行っています。



ボランティアセンターに行ってみよう!

和泉ボランティアセンター

大学公認のボランティアサークルのメンバーはもちろん、学外の団体で活動している学生、海外経験のある学生や留学生など、「何かしたい」という気持ちを持つ様々な学生の集まる場所です。学生同士や関連団体・施設との交流や協力を通じ、人と関わる活動や被災地支援、環境、難民、特技を生かした活動など、多様な活動を展開しています。

<2015年度の主な活動例>

- ・区内在住高齢者とお茶会、交流会
- ・地域のお祭りでのステージ発表やゲームコーナーの企画
- ・お昼休みのボランティア体験発表会
- ・ローリングバレー／竹とんぼ教室 など



今まで友達から何度も言われてきました。「ボランティアするなんてすごいね。」

私が初めて参加したのは、子どもたちと一日中遊ぶボランティア。東京とは思えないような大自然で、木登りしたり、一緒にマシュマロを焼いたり。私にとっては何もかもが初めて。べっこう飴の作り方も草笛の吹き方も、教えてくれたのは全部子どもたちでした。

ボランティアってすごいことですか？人の役に立たなくちゃ、人助けしなくちゃ。そんなすごいことを考えなくてもボランティアはできます。きっとあのボランティアをしなかったら、元気な子どもたちも、多摩川沿いの大自然とも出会っていません。ボランティアにはたくさんの出会いが詰まっています。

文学部2年 久保田 真奈



生田ボランティアセンター

学生たちは、大学公認ボランティアサークル、有志団体、ゼミ、個人と、様々なスタイルでボランティアに関わり、センターはその出会いやきっかけ、交流の場となっています。サイエンスや自然をテーマに、地域の方々に関わる入門プログラムも開催しています。これからも学生たちが主体的に活動できるよう、様々な考え方や活動が共存する、活力あるセンターを目指します。

<2015年度の主な活動例>

- ・子ども向け科学教室
- ・福島県の仮設住宅の方々と交流
- ・種まき・収穫体験
- ・ボランティアをふりかえるワークショップ
- ・地域の子どものための星空観望会



科学の楽しさを子どもたちに伝えるボランティアを知っていますか？それは「科学教室ボランティア」です。主に子どもたちと一緒に工作をしながら科学の楽しさを伝えるものです。このボランティアに私は1年の頃から参加しています。初めて参加した時は「とにかく子どもたちに楽しんでもらおう」という気持ちで臨んでいました。しかし参加するにつれ、興味を持ってもらうには、自分自身も興味を持つことが大切だと感じました。私自身がつまらなそうだと、子どもたちにも伝わってしまうのです。楽しんで接すれば、子どもたちも目をキラキラさせて、科学に興味を持ってくれます。

科学教室ボランティアは学ぶことも多く、やりがいがあります。初めは緊張しましたが、勇気を出して参加して良かったです！

農学部4年 岩本 悠希



～各キャンパスボランティアセンター紹介～

駿河台ボランティアセンター

千代田区及び近隣大学との連携により、「防災」をテーマに展開しています。また、学生スタッフ「Tree」はキャップの回収作業、エコキャップ関連イベントの企画・実施に加え、地域行事・他大学および学外団体のイベントに参加するなど、幅広い活動を行っています。

<2015年度の主な活動例>

- ・「災害救援ボランティア講座」、「防災講座&ワークショップ」
- ・すずらん祭り、ブックフェスティバル等の地域ボランティア
- ・エコキャップ週間(啓蒙イベント)
- ・千代田区防災プロジェクトの企画及び実施
- ・募金活動(JCV:世界の子どもにワクチンを日本委員会)



みなさん、飲み終わったペットボトルのキャップ、どうしていますか？ほとんどの人は捨ててしまっているそのキャップ。エコキャップ週間ではキャップと引き換えに抽選会を行っています。もちろんただ抽選をするのではなく、集められたキャップはワクチンに変身し、世界の子どもたちに送られるのです！

こんな活動を私たちTreeは年間を通して行っています。メンバーは3・4年のみですが皆、仲が良く和気あいあいとしているのもTreeの特徴だと思います。先輩に誘われて何気なく入ったTreeでしたが、今では良い仲間にも恵まれ、たった一年で私にとってなくてはならないものになりました。

1・2年生のみなさんも駿河台キャンパスでは、素敵な仲間とともにTreeと一緒に活動してみませんか？

法学部4年 矢吹 崇明

中野ボランティアセンター

中野ボランティアセンターは、2013年4月に新キャンパス開設と同時に開室した新しいセンターです。社会・地域との連携を推進しつつ、学内においては、エコキャップや使用済み切手の回収を行っています。ボランティアに関する相談などありましたら、お気軽に低層棟3階事務室内のボランティアセンターまでお問い合わせください。1階学生食堂内にも情報掲示板を用意しています。

<2015年度の主な活動例>

- ・中野キャンパス周辺の清掃活動
- ・エコキャップ、使用済み切手の回収
- ・難民支援活動の支援
- ・韓国語教室、中国語教室



中国から留学してきて、明大生には中国語を勉強した人、あるいは中国語に興味を持つ人が多いと感じました。中野ボランティアセンターが中国語教室を開催する案内を見て、友達と一緒に講師ボランティアスタッフに応募しました。そして、週一回の中国語教室がはじまりました。私は母語が中国語ですが、中国語を教えるのは初めてなので、最初は少し戸惑いもありましたが、ボランティアセンターが相談ののってくれるので、安心して活動することが出来ました。受講してくれる学生がどんどん増えてきて、彼らの中国語を勉強する熱情的な姿に感動し、ボランティア活動はやりがいがあると感じました。これからの目標は、受講してくれる学生が中国語の日常会話ができるようになるよう、努力することです。

情報コミュニケーション学部3年 張 徐栗可